



「性」についての学習を始めます。

さらに人間は社会的な動物であるため、「性」を主体的に生きようとした時、他の「性」と深く関わったり摩擦を起こしたりしますが、一方的にどちらかの「性」を犠牲にして築く関係ではなく、互いの「性」を認めあい、生かしあい、支えあう関係づくりが差別のない質の高い社会を築いていく基盤になると考え、本校の性教育は人権教育に根ざしたものにしなければならぬと思います。

刺激的に商品化され、ゆがんだ「性」の情報、今や子ども達の生活の中に大量に流れ込み、「性」そのものも手軽に商品化される時代です。それらの情報に翻弄され、生き方を含めた自己の「性」を見失う若者が増えていることは誰もが感じていることではないでしょうか。また、中学生や高校生における現実的な性被害、性犯罪も増加の一途をたどっています。さらに、性交に関する価値観の低迷により、若者の間で、エイズを含む性感染症の拡大が大きな社会問題になっています。

このような時代を生きる子どもたちに、正しい知識や身を守る手段を教え、共に「生きる」ということを考えていきたいと思っています。

数年間は、教師自身も学習を重ねながらの指導になると思いますが、より良いものを築いていきたいと思っておりますので、いっしょに考えていきましょう。(^o^) /

お家の芳へ

性教育を取り入れるにあたり、まず、教職員と保護者の研修会を計画しました。下記の日程・内容で行いますので、積極的なご参加を期待しています。

記

期 日： 8月4日(木) 14:00～ (受付13:35～)
講 師：「そくだレディースクリニック」院長 荘田朋子 先生
テーマ： 現代における青少年の性に関する問題と、
中学校における性教育の必要性について

(※詳細については、後日、別紙にて案内申し上げます。)

嘉穂中学校では、本年度から「性」についての学習を計画的に取り入れていきます。

「性」については、今までも「保健」の授業の中で、教科書を使って授業が行われてきましたが、現代社会の様々な問題の中でも、特に青少年の「性」に関する問題は、数々の事件の報道等を通して、誰もが心を痛める問題になっています。

そこで、保健の授業に重ねる形で、次の様な目標を持って、学校独自の「性教育」を行っていきたくて考えています。

「性」の学習をどうとらえるか

「性」とは「その人そのもの」、その人が持つ体・考え方・生き方すべてを指す。

★★「性」の学習を通して何を伝えたいか★★
自分の「心」・「体」・「生命」を大切にして、『自分の人生の真の主体者になる』と共に、他者との共生によって、より良い社会を構成していく。

『自分の「性」の主体者となる』ためには、基礎となる自分自身について、また社会の中で共に暮らす異性について、体の中から科学的に学習し、生命のしくみとその成長や発達、また個人差などについて十分に理解することが必要です。

次に自分のおかれている環境を理解し、その中での自分の位置や役割を考え、将来的に自分自身の体と心を、社会の中でどのように生かしていくことが幸せにつながるのかを考えさせていきたいと思っています。その際、自分自身を客観的にとらえることにより、個性を発見し、主体的な生き方の重要性に気づいていってほしいと考えています。